



安全・安心をお届けいたします

グリーンプロジェクト情報 第5号

きらきらEyeランド

JA庄内みどり

発行：庄内みどり農業協同組合
協力：酒田農業技術普及課

『と今年』にとるぞ反収！！ 活着促進とワキ対策で初期生育確保を！

本年は、播種時から低温・日照不足となったため、苗の生育が遅れ一部ではカビ等の発生も見られました。また、圃場の乾燥が進まないうちに耕起作業が実施されたため、乾土効果は“小”と見込まれています。

仙台管区气象台の1か月予報（4月27日発表）によると、天気は数日の周期で変わり、気温が平年に比べ高い見込みです。今後は好天日を選んで田植え作業を行い、保温的水管理で活着を促進し、初期生育確保に努めましょう。

技、其の一 乾土効果の発現は？

今年は、乾土効果が“小”と見込まれていますので、初期生育を確保するため、田植え後の保温的水管理を徹底し、特別栽培以外では品種・土壌条件に応じて活着肥を実施しましょう。

技、其の二 発根・活着を促進させる保温的水管理

田植え後は、水深4～5cm程度とし、発根・活着を促進させる保温的水管理が重要です。（畦畔の漏水防止対策として、畦畔ポリ等の使用は早めに実施する。）

活着後、分けつを促すうえで、日中は止め水にして、水深2～3cmの浅水管理を実施し、昼夜の温度較差をつけるため、給水は夕方または早朝に行いましょう。

例年、田植え後の強風や低温の影響で初期生育の停滞が見受けられますので、このような時は一時的に5～6cmの中水にして稲体の保護に努めましょう。

技、其の三 土壌の還元(ワキ)は根の活力を阻害します

乾燥が不十分なまま耕起を行なった圃場では、田植え後、好天が続くと土壌の還元(ワキ)が急激に進むことが予想されます。土壌が還元状態になると、有害ガスの発生により根の活力が低下し、初期生育の停滞につながります。特に重粘土地帯等では注意しましょう。

★還元状態のチェック

- ・圃場に入って歩くとブクブクと泡が出て、臭いニオイがする
- ・活着後の葉色が薄い

★主な対策

- ・温暖な日を選び、水交換を行いましょう。
- ・2～3日程度軽く田干し（ガス抜き）を行いましょう。
- ・例年、ワキがひどい圃場では、VSこがね液（5割/10a）の田植え直後の使用が効果的です。

（灌水深は5cm
処理後7日間は水を動かさない）



技、其の四 除草剤の散布は遅れずに！

除草剤は、代かきからの日数やノビエの発生状況を確認しながら遅れないように散布しましょう。

★散布後7日間は止め水とし、除草効果を高めましょう。

★散布する前は、畦畔の補修、畦畔ポリ等で漏水対策を行いましょう。

★アオミドロ、表層剥離の発生が見られる場合は、必ず水の交換を行ってから散布しましょう。またフロアブル・ジャンボ剤の強風下での使用は、薬が一定方向に偏ることがありますので避けましょう。

平成29年度 JA庄内みどりの主な推奨除草剤一覧

区分	除草剤名	10a散布量	使用時期
体系処理剤	エリジャン乳剤	300ml	移植直後～ノビエ1.0葉期
	ソルネット1キロ粒剤	1kg	
	メテオ1キロ粒剤		
中期剤	ザーベックスDX1キロ粒剤	1kg	移植後20日～30日
	テッケン1キロ粒剤		移植後15日～ノビエ4.0葉期
	ワイドショット1キロ粒剤		
初中期一発剤	バッチリ1キロ粒剤	1kg	移植直後～ノビエ2.5葉期
	クサオウジ1キロ粒剤75		移植後3日～ノビエ2.5葉期
	ライジンパワー1キロ粒剤		移植直後～ノビエ3.0葉期
	ビクトリーZ1キロ粒剤		
ジャンボ	バッチリフロアブル	500ml	移植直後～ノビエ2.5葉期
	クサオウジHフロアブル		移植後3日～ノビエ2.5葉期
	ライジンパワーフロアブル		
	ビクトリーZフロアブル		
豆粒	バッチリジャンボ	40g×10個	移植直後～ノビエ2.5葉期
	クサオウジHジャンボ		移植後3日～ノビエ2.5葉期
	ライジンパワージャンボ	50g×10個	移植後3日～ノビエ2.5葉期
	ビクトリーZジャンボ	40g×10個	移植後5日～ノビエ3.0葉期
豆粒	ヤイバ豆つぶ250	250g	移植後3日～ノビエ2.5葉期

※ 特別栽培および直播栽培で使用できる除草剤は、限定されますのでご注意ください！！

※ 春は作業が集中します。正確な記録の為、農作業記録野帳への記帳を忘れずに！！

★残り苗は田んぼに放置しない！⇒いもち病の伝染源になります。

補植苗一斉撤去デー 6月3日(土)・4日(日)

大豆は、土づくりと庄内みどり「大豆一発号」で多収を！！

〇〇〇 目指そう！240kg/10a 〇〇〇

今年も庄内みどり産大豆ブランド確立の為、下記栽培暦に基づいた大豆版トレーサビリティ体制を構築していきますので、基準順守による良質大豆の生産に努めましょう。

排水・土づくり等の基本技術を徹底して実施することが、高品質大豆安定生産への最低条件です！

大豆栽培暦

(品種) リュウホウ・エンレイ・里のほほえみ

作業項目	時期	ポイント	10a 当たり資材等
排水対策	4月中旬	○圃場の周囲に明渠を実施する(深さ40cm)。 ○サブソイラーにより暗渠の排水効果を高める。	最重要対策！
土づくり 施肥 耕起	5月中旬 ～ 5月下旬	○土壌PHは、大豆に好適な6.0～6.5に矯正する。 ○2回耕起とし、耕深15cm砕土率70%以上を確保する。	堆肥 1～2t 発酵鶏糞ペレット 75kg 粒状苦土石灰 120kg 大豆一発号 40～50kg 黒ひかり 40～60kg 大豆化成684 40kg
種子準備	5月中旬	○栽培初年目の転作田では根粒菌の接種が必要です。 注:根粒菌は直射日光に当てないこと。	種子 3.5～4.5kg キヒゲン 35～45g (種子量の1%) キヒゲンR-2フロアブル 70～90ml (種子1kgに20ml)
は種	5月下旬 ～ 6月上旬	○5月20日～6月10日頃	条間75cm 株間18～22cm 2粒点播 (12,000～15,000本/10a)
除草	5月下旬 ～	○乳剤は、10a当り100ℓの水で希釈して散布する。 ※は種直後全面土壌散布 ※散布液量が不足すると除草効果が劣るので注意する。	クリアター細粒剤F 4～5kg クリアター乳剤 600～800ml トレファノサイト粒剤2.5 4～6kg トレファノサイト乳剤 250～300ml エコトップ乳剤 500～600ml ラッソー乳剤 300～400ml

◎【ネキリムシ類の防除】

- ・クルーザーFS30 種子塗沫処理(乾燥種子1kg当たり原液6ml)
【塗沫処理順序 ①クルーザーFS30 ②キヒゲン ③根粒菌】
- ・クルーザーMAXX 種子塗沫処理(乾燥種子1kg当たり原液8ml)
【塗沫処理順序 ①クルーザーMAXX ②根粒菌】
- ・カルホス微粒剤F 播種時に散布(6kg/10a)し、土壌混和する。

農薬の保管と空容器の処理について

◆農薬の保管は、保管庫に必ず鍵を掛けて保管しましょう。又、使用済みの農薬の空容器等は、各支店・各資材店舗で年2回実施している農業用廃プラ回収日に処分しましょう。



《園芸情報》

アスパラガスの管理について



アスパラガスの新植管理について、下記のポイントを参考にしてください。

1. 本圃の施肥

10a当たりの施肥量の目安は堆肥10～30t、現物で苦土石灰を100kg、BMようりんを100kg、苦土重焼燐を60kgとなっています。土壌診断を行い調整します。また、10a当たりの化成肥料は成分でN:17～20kg-P:10～15kg-K:14～18kg程度施用します。

2. 定植準備

最適土壌pHは6.0～7.0です。深耕や有機物の施用により、通気・排水・保水性の向上に努めます。畝幅は150～180cmで株間は30cm～40cmとし、転作田等では高さ15～20cmの高畝にします。土壌水分の確保や雑草対策に黒ポリのマルチを被覆します。

3. 定植

深さ7～10cm程度に植え付け、マルチの開口部を塞ぐように覆土します。植え付けが深すぎると葉が伸長しなかったり、葉が伸びても茎が伸長していなかったりしますので注意しましょう。

4. 定植1年目の管理(茎葉管理)

定植1年目は収穫を行わず、茎葉の管理に努めます。支柱を立て、フラワーネット(4目)を張ります。ネットの位置は地際部から50cmの高さにします。倒れた茎は地際部から取り除きますが、可能な限り茎は倒さないように管理します。夏以降に生育量が増加した場合は、磷硝安加里S604を10a当たり現物で20kgを追肥します。灌水は土壌条件や時期にもよりますが、2～3日に1回を目安とし、過湿にならないように管理します。

5. 定植2年目以降の管理(収穫・株養成)

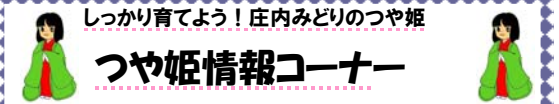
定植2年目から収穫が始まりますが、本格的な収穫は3年目以降となります。若い株は株養成に重点を置き、収穫期間を短くします。収穫期間の目安は定植2年目で10日、3年目で15日、4年目以降で30日程度になります。若茎が30cm程に伸び、先端が開く前に地際部から刈り取りましょう。夏季は1日2回(朝・夕)収穫するようにし、収穫ロスの低減に努めましょう。

収穫後は次年度の株養成に努めます。立茎する株は直径1～1.5cm程度(L規格)のものを株当たり4～6本立てるようにします。立茎が順調に進み、樹形を形成することができた後は、除草や下枝かき、扁平や曲がり等の奇形となった若茎の除去をこまめに行います。立茎する茎以外は太さを問わず間引き収穫し、必要本数以上を立てないようにして、株の養分消費を防ぎます。

6. 防除

病気は斑点病・茎枯病・灰色カビ病が発生します。基本的にボルドー剤等の予防防除に努めましょう。害虫はアザミウマ類・カメムシ類・ヨトウムシ類・オオタバコガが発生します。農薬や病害虫等に関する疑問・質問は各園芸センターへお問い合わせください。

★次号の発行は6月12日です！



しっかり育てよう！庄内みどりのつや姫

つや姫情報コーナー

○田植え機セットは70株/坪！

疎植栽培では、茎数の確保が難しいため穂重型の稲姿になります。登熟がスムーズな穂数型の稲姿を目指して田植え機セットは70株/坪としましょう。

○保温的水管理でスムーズな活着を！

速やかな活着で初期生育を促進しましょう。